



# コミュニティ

ひととまちをつくる情報誌

# くさつ



夏を楽しむ 暑さを私の味方に!

ロクハプール

はじまります。  
名付けて「夏楽大作戦」

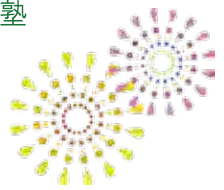
くさつの夏を楽しむための「とびつきり」をお伝えします。今年の夏はいろんなものを「ミカタ」につけて、夏をもっと楽しみましょう。

「ぼよよし」  
夏の楽しみ方は人それぞれ。「縁側で涼を求めるもよし」「思いっきり運動しちゃうもよし」

「ハス」「夏まつり」「青い田んぼ？」  
くさつの夏と言えば、何を思い浮かべますか？

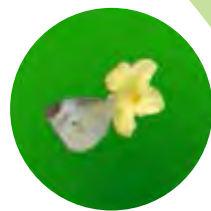
## もくじ

- ② ゴーヤカーテンが演出「こだわりの涼」  
グリーンプロジェクト 寛裕塾
- ③ ロクハプールで最高の夏を！！
- ④ シャル・ウィ・エクササイズ  
/お母さん 夏にご用心
- ⑤ 俳句散歩「夏」
- ⑥⑦ みんなとめんめん  
「まちセンの仲間紹介します」
- ⑧ 熊谷栄三郎の徒然草津 第9回



# ゴーヤカーテンが演出

## 「こだわりの涼」



チヨウチヨウは  
自然界の  
キュービット

グリーンプロジェクト 寛裕塾 かんゆうじゅく

噴き出る汗を拭いながら町を歩く。ふと涼を感じさせる緑にほっこり。ゴーヤの葉で覆われたグリーンカーテンを目にする機会が増えてきました。庭の一角に作られた緑の空間は、暑さを避けるだけでなく、家族や友だちと楽しい時を過ごすに最適な空間を演出します。



こんな自宅カフェでティータイムをしてみたい

今春、草津市からゴーヤの種の配布を受け、発芽させることに取り組みました。ゴーヤの種子は殻が硬く、「発芽に必要な水分を吸収させるには、どれくらい種を切ればいいのか。25℃という発芽に適した温度を保つにはどうすれば…」と試行錯誤する二人に協力者が現れました。「近所の方から温室を借りることができました。種の切り幅もそこでみなさんと何度も試

### 試行錯誤の末

ゴーヤにこだわり、エコにこだわっているのがグリーンプロジェクト「寛裕塾」。その大津寿男さんと河合泰彦さんにお話を聞きました。「寛裕塾」はシニア世代の仲間が地域の歴史や文化、自然を活かしたいと発足。数年前からゴーヤの育苗に取り組んできました。「カーテン作りは地球温暖化防止につながることはもちろん、みなさんと一緒に住みよよい暮らし、私たちの地域を考えるきっかけになります」と、お二人さん。

### 草津の涼を演出



ゴーヤの赤ちゃんをのぞき込む園児たち

こだわりのゴーヤは大きな陰を落とし、草津のまちに夏の涼を演出しています。「苗は80cmほどに伸びたころ、ツルの先端を一度だけ摘み取ります。すると横にも伸びてくれるので緑はネット全体へと広がります。しっかりと実をつけるにはチヨウやハチの受粉が欠かせませんが、絵筆でオシベの花粉をメシベに人工授粉してやれば、きれいなカーテンができ

し、良い状態を探し出しました。子どもを育てるような思いで、ほとんどの発芽に成功できました」と振り返ります。成長した苗は寛裕塾の会員をはじめ、市内の幼稚園や小学校、公共施設などに配りました。

るので「安心を」二人の話は尽きません。「これからもゴーヤを楽しみにしている子どもたちに、良い苗を届けるには今年にできる種が大切。私たちと一緒にゴーヤを育て、環境学習のサポートをしてくれる仲間を増やしていきたいですね」と早くも来年への夢がふくらみます。

### グリーンカーテンづくりサポーター募集(若干名)

- ①グリーンカーテンづくりに関心があり種子から苗づくりに参加できる人
- ②環境学習に関心のある方(公民館や幼稚園、小学校などで環境学習指導のできる人)

お問い合わせ先 グリーンプロジェクト寛裕塾 大津さん  
電話・FAX/562-8589



# ロクハプールで最高の夏を!!

## 流水・スライダーが面白い

夏といえば「ロクハプール」!

子ども連れのお母さんは「室内の幼児プールは、水深が浅いので安心して遊ばせられる。」と水しぶきを立てながら遊ぶ姿を見守っていました。

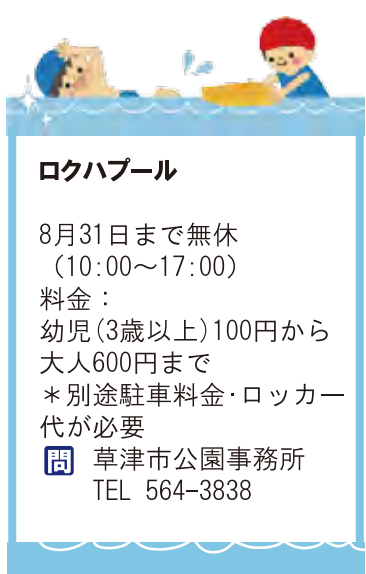
屋外プールには、毎日楽しみに通ってくれている市内の中学生四人組。「屋外プールは広々していて気持ちがいい! やつぱりスライダープールや流れるプールがおもしろい!」と真っ黒に日焼けした顔から白い歯を輝かせながら興



奮気味に話してくれました。  
ロクハプールは、この夏も大活躍間違いなし!  
まだまだ厳しい暑さが続きます。熱中症対策にロクハプールを!

### ロクハプール

8月31日まで無休  
(10:00~17:00)  
料金:  
幼児(3歳以上)100円から  
大人600円まで  
\*別途駐車料金・ロッカー代が必要  
☎ 草津市公園事務所  
TEL 564-3838



## あなたもいっしょに花壇づくりを

サポーター登録第1号の久保田さん、倉谷さんに登録されたきっかけ、思い等をお聞きしました。

「レイカディア大学を卒業して色々なところでボランティア活動をしてきたが、どこも草津市外ばかり、地元で活動したいと思っていたところたまたま公園サポーター募集のチラシを見つけ登録することにしました。ロクハ公園がこんなに立派だとは知りませんでした。

もっと多くの方に公園を利用してもらいたい。そのためにもっと魅力ある公園にしていきたい。

皆さん一緒にやりましょう!



この暑い夏も花壇整備や剪定作業等に活躍中です。がんばっている姿を見かけたら声をかけてくださいな。



公園サポーター久保田さん(左)と倉谷さん

## カブトムシを見て・触れて、遊ぼう!



カブトムシ観察小屋では、カブトムシと自由にふれあうことが出来ます。初めて触ったと大喜びする子ども。角で相手を投げ飛ばす様子を見てワアと驚く子ども。是非一度カブトムシとふれあう体験を!

(8月15日まで)



# シャル・ウィ・エクササイズ

夏こそ爽やかな汗をかか

ロクハ荘

この暑さもなんのその、アクティブに身体を動かすヨーガと社交ダンスの2つの同好会に話を聞きました。

## ヨーガできめ!

ヨーガ同好会では、和やかな雰囲気の中、ゆっくりポーズを決めます。

「仰向きのワニのポーズ」・「立木のポーズ」等々。

「片足立ちがきついなら手だけで大丈夫ですよ」と先生の優しいアドバイス! 「身体が硬いし無理やわ…」なんて固定概念が覆されます。広い多目的ホールで、のびのび身体を伸ばし大変気持ち良さそう



スタッフも、片足あげて両手あげてみました。3秒も続かず、やはり努力あつてのヨーガポーズ。おみそれ致しました。

## 優雅にステップ

耳を澄ますと「1・2・3」の音が社交ダンス同好会です。テーマに『健康増進とおしゃれ』を掲げ活動しています。

社交ダンスを始められた方々からきつかけを聞きました。「エジプトで暮らしている娘から社交ダンスを始めて若々しくなったね、と言われ、会いに行く楽しみが増えました」。

「いつまでも元気でいて欲しいと家族から勧められて始めました。その家族の想いが自分自身の老化防止につながっています」などの声が寄せられています。

井野さん(左)と踊る馬場さん



会員の馬場さんは、「社交ダンス歴16年になります。今は、小松先生の指導の下、練習に励んでいます。毎月第1日曜日は会員以外の方も気軽に参加できるフリーダンスの日です。毎回たくさんの方と一緒に踊れるのでとても楽しいです」と笑顔いっぱい話してくれました。

両同好会とも、会員募集中です。

問 ロクハ荘 563-5021

# お母さん 夏にご用心

子育て情報交換を



## ベビーカー

「夏の暑さはお母さんだけでなく、子どもたちにとっても大変つらいんですよ」と、子育て支援グループ「はな＊はな」の代表、白井けい子さん。「赤ちゃんは自分で体温調節ができないし、ベビーカーは地面の照り返しで思ったより暑く、夏は要注意です」と呼びかけています。

「はな＊はな」は、初めての赤ちゃんで不安になったり、育児で相談相手がなく困っているお母さん方にくつろいでもらえる場所を作ろうと、12年前に発足。まちづくりセンターでは毎週金曜日に1歳半までの子と家族を対象にした集いを、毎月第1・3月曜日には未就園児への絵本の読み聞かせなどの活動をしています。メンバーは50歳から70歳代の13人。

白井さんは「子どもさんも家族以外の人とふれ合うことで社会性が芽生えます。まずはお母さん同士の輪を広げられるような場を作りたい」。

8月30日(金)には、まちづくりセンターの『からっとサロン』で、絵本の読み聞かせや紙芝居などをする「はな＊はななるゝむ」を開きます。



俳句散歩「夏」

この俳句散歩で、芭蕉の「奥の細道」に書かれた俳句を幾度か紹介して来ました。芭蕉は暑く雨の多いこの時期に陸奥から越後、越中、加賀へと旅を続けていました。折からの暑湿の苦勞で日々の旅の記録を9日も記せなかったと、本紀行文で嘆いています。

私たちも芭蕉の苦勞を推し測りながら、奥の細道の俳句を味わって一時暑さを忘れましょう。(橋詰 辰夫)

シヤレを好み、人々に親しまれた俳諧の祖・山崎宗鑑。  
宗鑑さん生誕の地である草津では毎年、宗鑑忌俳句大会も開かれる俳句ゆかりの地。先人たちが五・七・五に込めた  
思いや句の背景を知れば、グツと深まる言葉たち。そんなゼイタクな時間を届ける「俳句散歩」をどうぞ。

雲の峰

幾つ崩れて 月の山

芭蕉

弥生も末の七日(陽暦で5月日)に「行春や鳥啼き魚の目は  
泪」※<sup>1</sup>と詠んで江戸を出発した芭蕉は  
ホトトギスが鳴く頃には松島を過ぎ、夏の初めには平泉に到達  
しています。かの地では藤原一族や義経の栄枯盛衰に思いを馳せ  
「夏草や兵どもが夢の跡」※<sup>2</sup>「五月雨の降りのかしてや光堂」※<sup>2</sup>と  
詠んで感慨に耽りました。更に進んで立石寺では、有名な「閑さ  
や岩にしみ入 蝉の声」※<sup>3</sup>を詠みました。

芭蕉は更に旅を進めて出羽の国に入り、出羽三山(月山、湯殿  
山、羽黒山)を巡礼しています。その主峰が月山で標高は198  
4mも有ります。まだ雪氷の残る山を息も絶え絶えに頂上にたど  
り着いた頃には日も暮れ月が昇って来た。昼間は入道雲が幾つも  
幾つも湧いていたが夜には崩れて、今はこの  
月山に月が照っている。「月の山」は月の照る  
山と月山をかけています。その夜はササを  
敷いて、シノタケを枕にして寝ました。

いやはや我らが芭蕉翁は健脚でタフだっ  
たんですね。出羽三山残り二山にちなんだ  
句も詠んでいます。後日に譲りましょう。



暑き日を

海にいたり 最上川

芭蕉

羽黒を過ぎて、次は鶴岡に入り、門弟と  
句会を持った後、最上川を船で酒田に下り  
ました。

あんなに暑かった今日一日を悠然と流れ  
る最上川がすっかり海に流し込んでしまっ  
た。今はこの酒田の湊は涼しくなっ  
とだ。赤々とした大きな夕日が海に沈んで  
ゆく様と大河が海に流れ込む雄大さと暑さ  
が去って涼しさを感じる芭蕉の安らぎとが渾然一体になった、ス  
ケールの大きな情景が見えてきます。

芭蕉は出羽三山の巡礼中は暑さと体の疲労に散々悩まされ  
た後で、最上川の悠々とした流れと悠大な日本海また大きな夕  
日を見て、感慨ひとしおだったのだでしょう。

「月日は百代の過客にして、行きかふ年も又旅人也。」で始ま  
る芭蕉の紀行文「奥の細道」は何度読み返しても、私に歳相応な  
情感を与え、また新しい情景を見せてくれます。

芭蕉の俳句は皆さんにも一時の暑気払いとなつたでしょうか？



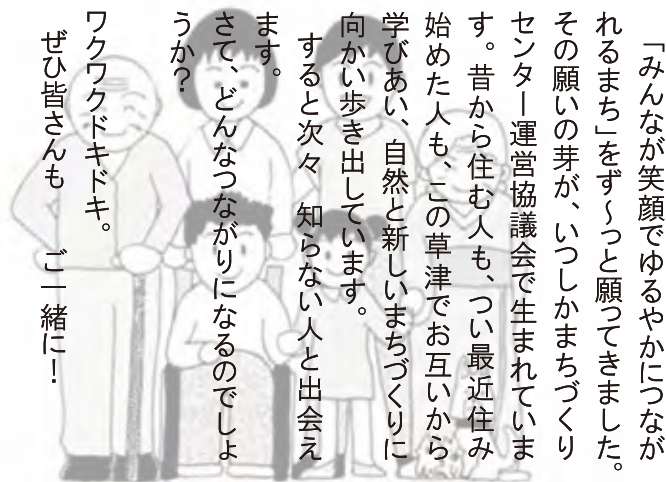
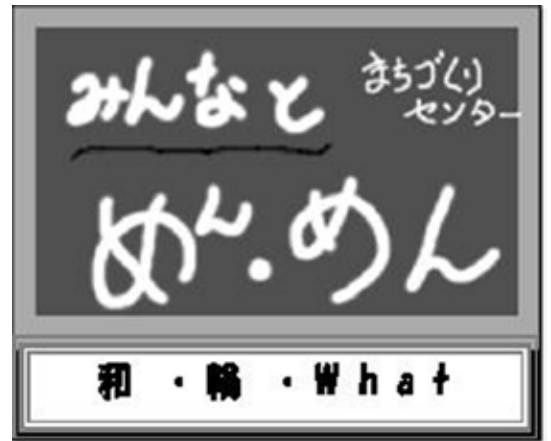
※ 1 : 本紙2007年春号(通算80号)掲載  
※ 2 : 同上2012年夏号(通算94号)掲載  
※ 3 : 同上2007年夏号(通算81号)掲載

まちづくりセンター運営協議会の情報紙「みんなとめんめん」が、今回の38号から本誌と合わせ、より多くの草津市民の皆さんに、その取り組みや団体の活動を紹介させていただくことになりました。

運営協議会は、利用者である登録団体の皆さんと、施設管理者である事業団、そして行政が、センターの運営や草津のまちづくりについて、みんなで考え、時には一緒に汗もかきながら取り組んでいます。

協議会の情報は、情報部会のメンバーがお届けします。  
どうぞよろしくお願いいたします。

※ 8月1日現在の登録団体数は63です。



まちづくりセンター運営協議会  
代表 宮下千代美さん

笑顔でつむぐ草津の未来

つながるまちセン  
さらに大きな輪を!



### 草津の夜空を楽しむ星座学習会

夜空に輝く星を知っていただきたいと「夏の星座学習会」を6月29日、まちづくりセンターで開きました。

運営協議会施設部会と立命館大学学生サークル・草津天文研究会のみなさんが協力して3年前にスタート。参加した小学生らは、七夕伝説や夏の星座についての説明を受けた後、黒いゴミ袋を使った手作りプラネタリウムで星空を体験。ふらっとサロンでは、短冊に願いごとを書いて竹笹にくくりつけたり、天体望遠鏡をのぞいたりして楽しんでいました。

司会を務めた立命館大学3年生加藤桃子さんは「これを機会に、星への関心が強まればうれしい。今後とも地域との交流を深めていきたい」と話していました。今回参加できなかった方は、ロクハ公園でもありますので、8ページのイベント情報をご覧ください。



# 第33弾！ まちセンの仲間を紹介します

## フリースク

ストレッチ&フィットネスのママサークルです

無料レッスン体験

サークル員

募 集

★軽く体を動かしたい方

★運動不足がちな方

★健康を維持したい方

私たちと一緒に楽しく気持ちのいい汗を流してみませんか？

年齢を気にせずお気軽にご参加下さい。  
お子様連れでもOKです。



毎週金曜日  
11:00～12:30  
まちづくりセンター  
2階

(持ち物)  
運動しやすい服装  
シューズ、ヨガマット、  
飲み物

## オリーブ

オリーブは在住外国人に日本語を教えているボランティアグループです。毎週土曜日の午後7時から、まちづくりセンター2階で教室を開いています。

先生は20代から70代の老若男女、共通しているのは皆、日本語・海外・ボランティア活動に関心があるという点。オリーブで初めて日本語を教えるという人もたくさんいます。

ホームページ

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu/> にオリーブの活動内容を詳しく載せています。

ご覧になって興味を持たれた方はぜひ教室へ。  
ただいま会員大募集中！



## 滋賀自立生活センター

滋賀自立生活センターは「障害者の自立生活をサポートする拠点」として生まれました。地域で先駆的に自立生活をする障害者が、そのノウハウを障害のある後輩に伝え、社会の中で楽しく暮らすため、イベントやレクリエーション等を開催しています。また、「障害者が住み良いまちは誰でも住み良いまちだ」と確信し、地域のまちづくり会議にも積極的に参加、提言を行っています。

今年は設立20周年。10月20日(日)には「シンポジウム」と「秋桜フェスタ」を同時開催します。障害の有無を超えて、いつも“あなた”をお待ちしています。



## 草津・栗東おやこ劇場

### 草津・栗東にも おやこ劇場の輪を広げよう！

あついお母さん達の思いから、福岡で生まれ全国に広まった活動です。子どもとともに感動し、親子いっしょにいろいろな体験をしながら、ともに育って行ける場の提供をしています。

どうぞ、今後の公演予定を参考に、お子さんとともに楽しい計画を立ててみてください。

9月7日(土) 人形劇『さんまいのおふだ』

出演:よろず劇団とんがらし

12月1日(日) 芸能『アフリカンエクスプレス』

出演:アサンテプラン(神奈川)



熊谷栄三郎の

# 徒然草津

つれづれくさつ

第9回

## ちりんちりん

熊谷栄三郎

歩道で、背後から「そのけ」とばかり自転車のベルを鳴らされるのはいやなものである。自転車の通行が許されている歩道であつても、いい気持ちではない。ちよつとは歩行者に遠慮をしてくれよ、という気になる。

以前、京都郊外の狭い歩道を歩いていたときのこと。疲れていて、後ろに自転車が接近してきているのに気づかなかつた。突然、背中へのんで「ちりぢりぢりん」とベルが鳴った。あわてて片側に寄ると、青年が強引にすり抜けて行った。そしてチエツという舌打ちに続いて「ばか」という小声が聞こえた。

腹がたつた。でも、どう反応していいか分からず、なぜか「すまんね、すまんすまん。すまんね、すまんすまん」と変な連呼をしながら、小走りに自転車の後を追った。青年は気味悪く思ったのか、尻を上げてダッシュし、みるみる遠ざかつて行った。

草津でも、自転車と歩行者の「戦い」は毎日繰り返されている。背後から来て、いきなり歩行者をすれすれに追い越して行く若者が多い。歩行者がふと横へ踏み出したため、衝突したのを見たことがある。

最近の経験談。自転車走行可の歩道を、私は少し急いでペダルを踏んでいた。と、歩道いっぱいになって歩いている三人連れのおばさんたちに追いついてしまった。鳴らされる方の気持ちを考えると、どうしてもベルを鳴らしたくないでも、少し急いでいる。

そこで、恥ずかしかつたけど、ついに自分の口で唱えてみた。「ちりんちりん」と。結果は良好。三人は振り返り、道を開けてくれた。しかも笑いながら。そうだ、「ちりんちりん」と口で唱えることを市民に推奨する「ちりんちりん条例」の制定なんて、どうだろう。もちろん冗談。

でも、無粋で脅迫的なベル音でなく、明るく軽い「ちりんちりん」の肉声がかかる町がいいかも、と私は思っている。



### 編集後記

30年くらい前の草津市では、市内の至る所でカブトムシやクワガタが捕れました。夏休みの子どもたちは、午前中にプールへ行き、午後は虫かごとピンセットを持って自転車で雑木林へ直行していました。「ヒラタクワガタ見つけた」「コクワガタ2匹ゲット」など、友達とピンセットで木の穴を探ります。子ども同士の口コミ情報もしっかりしていて、「あの木は昨日捕ったから次は1週間後が狙い目だ」や「あそこはたくさん捕れるけどスズメバチの巣があるから注意しろ」など、アイスクリームを片手に目を輝かせながら情報交換していました。今では雑木林も少なくなり、虫もペットショップで販売していますが、買ってもらう喜びより、自分で探し、捕まえるところに魅力があるので、機会があれば子どもたちに伝えていきたいと思えます。(T)

### イベント情報

- ☆星空ウォッチング  
8月10日(土)19時~21時  
芝生広場 定員20名  
保護者同伴 無料  
ただし、事前申込みが必要
- ☆緑化フェア  
9月15日(日)10時~16時  
ふれあい動物園他を予定  
詳しくは ホームページまたはポスターをご覧ください。  
ロクハ公園 ☎564-3838

### 市民編集ボランティア募集

コミュニティくさつの取材や編集をおこなっていただく市民編集ボランティアを随時募集します。草津市民の方ならどなたでも応募いただけます。(公財)草津市コミュニティ事業団まちづくり振興課までお気軽にお問い合わせください。

発行/ (公財)草津市コミュニティ事業団 まちづくり振興課  
〒525-0037 滋賀県草津市西大路町9-6

まちづくりセンター内  
TEL/077-565-0477 FAX/077-562-9340

Mail/com-com@mx.biwa.ne.jp URL/http://kusatsu.or.jp

